



第 326 号(令和6年(2024 年)1月 11 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

～スキー場及びバックカントリーエリアにおける
外国人向け安全啓発動画及び記事を公開～

(1)長野県公式観光サイト「GO NAGANO」への啓発記事の掲載

安全にスキー場スキー及びバックカントリースキーを楽しむための
ポイントを、下記の動画と合わせて紹介

<https://db.go-nagano.net/en/staying-safe-in-the-backcountry/>



(2)啓発動画2本の公開

・「スキー場編」約5分間

長野県内のスキーリゾートの紹介、スキー場利用の注意点など



・「バックカントリー編」約5分間

バックカントリースキーの魅力とリスク、安全に楽しむ方法など



天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

令和 5 年 12 月 5 週は、八ヶ岳連峰で 3 件の遭難が発生し、うち 1 件はアイスクライミング中に発生しています。

権現岳の遭難は、滑落後、積雪により身動きがとれなくなってしまったものです。遭難時、携帯電話の電波が通じたことにより救助を要請することができましたが、もし電波が通じなければ最悪の場合、行方不明になりかねない事案でした。遭難者自身は、冬山経験が少なく、食料や水分も不足していたため、当日のうちに救助ができなければ低体温症等により命を落としてしまうリスクもありました。

冬山の単独登山は、複数人で入山するよりも非常にリスクが高いため、万一のトラブルやアクシデントに備えて十分な装備と食料等を携行してください。そして、冬山装備は、お守りではなく、実際に有効活用できるよう装備品の取扱方法や使用判断については事前に習熟しておきましょう。

令和 5 年中の長野県内の山岳遭難は、302 件発生し、遭難者数は 332 人で、過去最多を記録しました。

「無事帰宅するまでが登山」です。令和 6 年も安全登山をお願いします。

発生状況:

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
12月25日	八ヶ岳連峰 権現岳	男	24	無事救出	滑落	単独で三ツ頭登山口から入山し、権現岳から赤岳に向けて縦走中、雪が崩れスリップし、滑落、負傷
						
12月26日	八ヶ岳連峰 阿弥陀岳	女	43	負傷	転落	6人パーティで美濃戸口から入山し、南沢大滝でアイスクライミング中にバランスを崩し、転落、負傷
12月27日	八ヶ岳連峰 阿弥陀岳	女	28	負傷	転倒	2人パーティで行者小屋から美濃戸口に向けて下山中、凍結した登山道で足を滑らせ、転倒、負傷

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日~12月31日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	302	37	3	160	132	332	200
内)単独登山	112	19	0	53	40	112	72
令和4年(2022年)	284	37	4	140	129	310	181
前年同期比	+18	±0	-1	+20	+3	+22	+19
内)単独登山	+13	+2	-3	+15	-1	+13	+14

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～12月31日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	70	23.2%	11	0	33	32	76
	後立山	59	19.5%	7	2	38	18	65
	その他	35	11.6%	4	0	15	18	37
	計	164	54.3%	22	2	86	68	178
中央アルプス	20	6.6%	1	0	14	8	23	
南アルプス	5	1.7%	1	0	2	3	6	
八ヶ岳連峰	45	14.9%	3	0	20	26	49	
その他の山岳	68	22.5%	10	1	38	27	76	
計	302		37	3	160	132	332	

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～12月31日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	88	29.1%	23	0	67	0	90
転倒	75	24.8%	0	0	75	0	75
病気	24	7.9%	3	0	0	21	24
道迷い	30	9.9%	0	0	0	42	42
落石	8	2.6%	1	0	7	0	8
雪崩	3	1.0%	3	0	2	1	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	42	13.9%	3	0	0	45	48
不明・他	32	10.6%	4	3	9	23	39
計	302		37	3	160	132	332

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～12月31日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	1	6	7	53 23.6%	0	0	0	3	3	15 14.0%	10	66 20.5%
20代	0	0	9	16	25		0	0	4	2	6		31	
30代	3	2	10	6	21		1	0	0	5	6		27	
40代	6	0	12	10	28	69 30.7%	1	0	14	8	23	50 46.7%	51	119 35.8%
50代	7	0	26	8	41		3	0	16	8	27		68	
60代	4	0	26	22	52	103 45.8%	1	0	15	9	25	42 39.3%	77	145 43.7%
70以上	11	1	17	22	51		0	0	10	7	17		68	
計	31	3	101	90	225		6	0	59	42	107		332	
比率	67.8%						32.2%							

年末年始の山岳遭難発生状況（令和6年1月5日県警山岳安全対策課発表）

◎年末年始の山岳遭難の発生は、1件1人(前年比－6件 －10人)

年末年始の山岳遭難発生状況(12月29日～1月3日)

区 分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比
発生件数	2	1	2	7	1	－6
遭 難 者 (人)	死 者	0	0	0	0	±0
	行方不明	0	0	0	1	－1
	負 傷 者	1	1	1	3	－3
	無事救出	1	0	1	7	－6
	計	2	1	2	11	－10

(1) 遭難の概要

松本市在住の20歳代男性が、12月30日に単独で北アルプス遠見尾根から五竜岳山頂を目指して入山し、31日に五竜山荘付近で幕営中、低気圧の通過による大量の降雪でテントが埋まり、行動不能となり救助要請。

1月1日に県警ヘリで救助。

(2) 遭難の特徴

期間中、31日から1日にかけて天候の悪化が予想されていたことから、年末年始は多くの登山者が訪れる八ヶ岳連峰では、例年に比べ登山者も少なく遭難の発生もなかった。

五竜岳における遭難は、事前の情報収集不足及び判断ミスに起因するもので、天候の悪化が予想されていたにもかかわらず、計画を強行したことにより遭難をしたもの。

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

令和6年1月1週は、6件の山岳遭難が発生しました。積雪による行動不能や、アイスクライミング中の転落、ホワイトアウトによる道迷い等、いずれも冬山特有の遭難でした。

八ヶ岳連峰では、徐々に気温が低くなり、アイスクライミングに最適な時期になっていますが、アイスクライミングは、冬山経験にプラスして、技術・知識・体力が必要になります。

アイスクライミングは、一度転落や滑落をすれば、骨折を伴う重傷以上の怪我をしてしまうほど危険を伴いますので、アイスクライミングを行う際は、ルート判断、確実な支点構築を行い、登攀中は一步一步慎重な行動を心掛けましょう。

中央アルプス千畳敷での遭難は、ホワイトアウトにより方向を見失い、道に迷ってしまったものです。

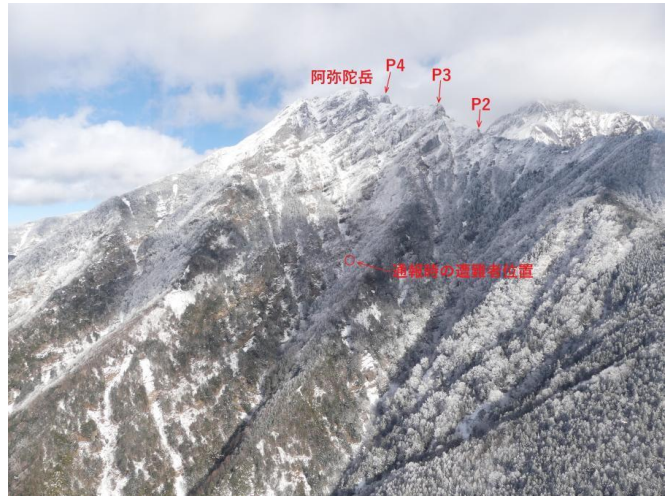
当日は、冬型の気圧配置が強まり、吹雪が予想されていました。このような状況で行動をすれば、ホワイトアウトによる道迷い、低体温症のリスクが高くなります。気象遭難に遭わないためにも事前の気象情報の確認と慎重な判断をお願いします。

1週末は、長野県内北部地域を中心に市街地でもまとまった積雪が確認され、路面が凍結している箇所があります。

今後、登山やバックカントリーに出掛ける際は、積雪量を考慮した行動を心掛け、登山口やスキー場等へ移動する際の車の運転にも注意をしましょう。

発生状況:

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
1月1日	北アルプス 五竜岳	男	28	無事救出	その他	単独 で入山し、山小屋周辺で幕営中、積雪でテントが埋まり、行動不能
1月5日	八ヶ岳連峰 天狗岳	女	49	無事救出	発病	3人パーティでテント宿泊中、発病して行動不能
1月7日	八ヶ岳連峰 阿弥陀岳	女	53	負傷	転落	4人パーティで広河原沢をアイスクライミング中、転落、負傷



1月7日	八ヶ岳連峰 横岳	女	55	負傷	転落	3人パーティで三又峰ルンゼをアイスクライミング中、つかんだ木が折れて、バランスを崩し転落、負傷
1月7日	八ヶ岳連峰 天狗岳	女	58	負傷	転倒	8人パーティで山小屋周辺を登山中、転倒、負傷
1月7日	中央アルプ ス千畳敷	男	34	無事救出	道迷い	4人パーティで入山し、2人で宝剣岳から浄土乗越に向けて下山中、ホワイトアウトにより道に迷い、行動不能
		男	29	無事救出	道迷い	

令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況(令和6年(2024年)1月1日～1月8日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年(2024年)	6	0	0	3	4	7	3
内)単独登山	1	0	0	0	1	1	0
令和5年(2023年)	8	1	2	4	5	12	7
前年同期比	-2	-1	-2	-1	-1	-5	-4
内)単独登山	-3	-1	±0	-2	±0	-3	-3

■山域別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～1月8日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	1	16.7%	0	0	0	1
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
	計	1	16.7%	0	0	0	1
中央アルプス	1	16.7%	0	0	0	2	2
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	4	66.7%	0	0	3	1	4
その他の山岳	0	0.0%	0	0	0	0	0
計	6		0	0	3	4	7

■態様別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～1月8日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	2	33.3%	0	0	2	0	2
転倒	1	16.7%	0	0	1	0	1
病気	1	16.7%	0	0	0	1	1
道迷い	1	16.7%	0	0	0	2	2
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	0	0.0%	0	0	0	0	0
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0.0%	0	0	0	0	0
不明・他	1	16.7%	0	0	0	1	1
計	6		0	0	3	4	7

■男女別・年齢別比率(令和6年(2024年)1月1日～1月8日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19歳以下	0	0	0	0	0	3 100.0%	0	0	0	0	0	0 0.0%	0	3 42.9%	
20代	0	0	0	2	2		0	0	0	0	0		0		2
30代	0	0	0	1	1		0	0	0	0	0		0		1
40代	0	0	0	0	0	0 0.0%	0	0	0	1	1	4 100.0%	1	4 57.1%	
50代	0	0	0	0	0		0	0	3	0	3		3		3
60代	0	0	0	0	0	0 0.0%	0	0	0	0	0	0 0.0%	0	0 0.0%	
70以上	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0
計	0	0	0	3	3		0	0	3	1	4		7		
比率	42.9%						57.1%								

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jpまでお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝

